

市民公開シンポジウム

『日本の“食と農”の未来を考える勉強会』

コメを守る 挑戦



来場者にもれなく

参加費
無料

金芽米

3合パックを
プレゼント！

※お一人様一つ



今、私たちにできることは？

「お米不足」や「お米の価格高騰」が深刻化するなど、私たちの食卓の「当たり前」が大きく揺らいでいます。こうした危機に対し、市は全国の生産地と連携した独自の米のサプライチェーン（※）を構築し、新たな仕組みづくりに取り組んできました。本シンポジウムでは、市長と食のプロフェッショナルと共に、「米」と「食と農の未来」について学び、これからの「食」について考えます。「日本の食の課題」に立ち向かう自治体首長が全国から集まる注目度の高いイベントです。ぜひご参加ください。

※調達から生産、加工、流通、消費までを含めた一連の流れ

当日の内容

午後4時～5時 〈第1部〉 講演会

南出賢一 講演「泉大津市から食と農と健康を守るための取り組み」
鈴木宣弘氏 講演「食糧危機のリアル～いま何が起きているのか～」
雑賀慶二氏 講演「お米が持つ本当のチカラ」

午後5時～6時 〈第2部〉 講演者パネルディスカッション

「地方から変える“食”の未来―市民・企業・大学の連携モデル」

日時 2025年8月26日(火)

開場 午後3時30分
開演 午後4時～6時

場所 閑空泉大津ワシントンホテル
2階 シンフォニー（泉大津市なぎさ町5-1）

アクセス ● 駐車場あり（無料・最大90台）
● シャトルバスあり（泉大津駅発）
※詳しくは市HPをご確認ください。

勉強会の詳細及び
ウェブ申込はこちら



参加申込：8月24日(日)締切
オンラインまたは電話にて受付
定員：会場150名（先着順）
※オンラインは制限なし

無料一時保育申込：8月15日(金)締切
対象：6カ月～未就学児
※事前予約制



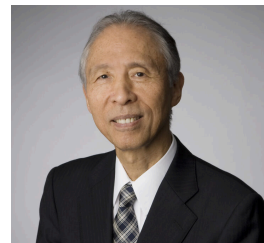
泉大津市 市長
南出 賢一

全国初となる消費地と生産地をつなぐ「新たな“食”のサプライチェーン」を実現。米不足を予測し、全国の自治体に先駆けて市民へのお米販売の仕組みをつくった先進的リーダー。



東京大学 特任教授
鈴木 宣弘氏

日本の食料危機に警鐘を鳴らし続け、農業と食の未来を守るための提言と発信を続ける第一人者。メディアにも多数出演し、農業・流通・政策の課題をわかりやすく解説。



東洋ライス(株) 代表取締役社長
東京農業大学 客員教授
雑賀慶二氏

長年にわたりお米の価値と可能性を研究し「無洗米」や「金芽米」を開発したバイオニア。91歳の今なお現役社長・大学客員教授として“お米のチカラ”を体現し続ける。

電話申込
・
お問合せ

泉大津市
市長公室成長戦略課

〒595-8686 大阪府泉大津市東雲町9番12号
TEL：0725-33-1131
E-mail：senryaku@city.izumiotsu.osaka.jp

泉大津市の“食”の取り組み

食のサプライチェーン改革

泉大津市では、「**市民の健康増進**」及び「**食料危機への備え**」の観点から、米を中心とした農作物等を、国内の農業の持続的発展に寄与する形で安定的に確保していくため、全国の生産地と連携しています。

生産地

- 販路拡大
- 農家収入の安定化
- 遊休地の活用



連携



消費地

- 安定的な食糧の確保
- 安全安心な食糧の提供
- 食育の推進

生産地と消費地を繋ぐ架け橋



取り組み

①

連携先地域から米を直接購入



農業連携先地域から有機JAS米や特別栽培米を直接購入。購入した米は学校給食をはじめ、子育て支援施策等に活用。

取り組み

②

全ての小・中学校でときめき給食



令和4年4月から「ときめき給食」として、発酵食品やオーガニック食材、旬の食材など、季節を感じられるいつもとは違う特別な給食を、毎月第2、第4木曜日に提供。

取り組み

③

マタニティ応援プロジェクト



妊婦の健康増進を目的としたプロジェクトを実施。妊娠届提出の翌月から出産予定月まで妊婦とその家族に毎月10kgの「金芽米」をプレゼント。

取り組み

④

連携地域で農業体験こども特派員



市内のこどもたちが農業連携先で、普段できない農業体験や生産者への取材を通して、食や農について学び、健全な育成に繋がる地域間交流活動を通じた原体験機会を創出。